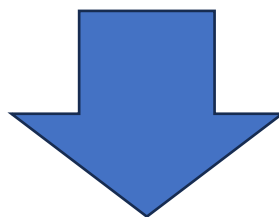


## アルバイトでラップを容器にかけていた時に...

- ・ラップカッターが手に当たってしまい、手を切ってしまった。
- ・大きな容器に関して、容器にラップをかけてからもう一度ラップをかけなくてはいけない作業が面倒であると思った。

**という経験をした。**



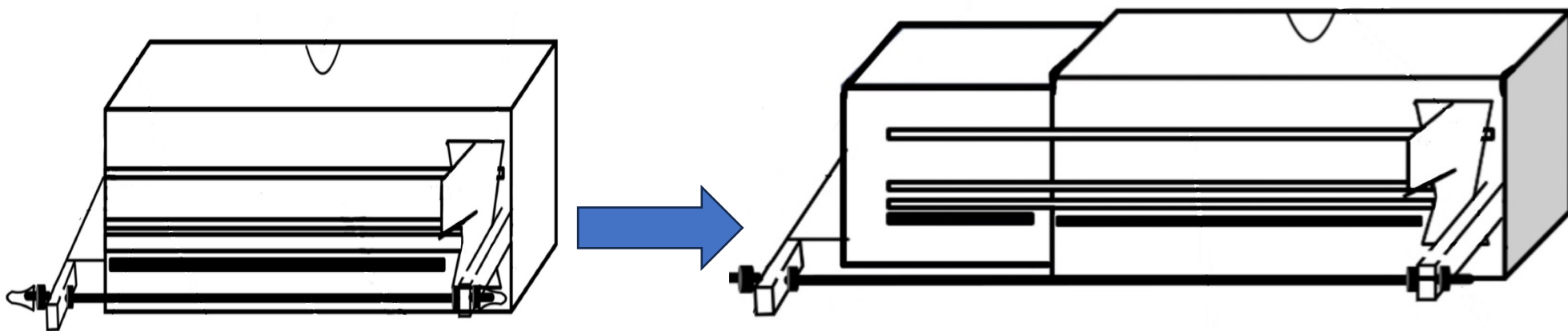
### <課題>

以下の課題を解決できるようなラップフィルムケースの作成

- ・ 大きな容器でも一度でラップをかけることができる。
- ・ 怪我をすることがなく、安全にラップをカットできる。

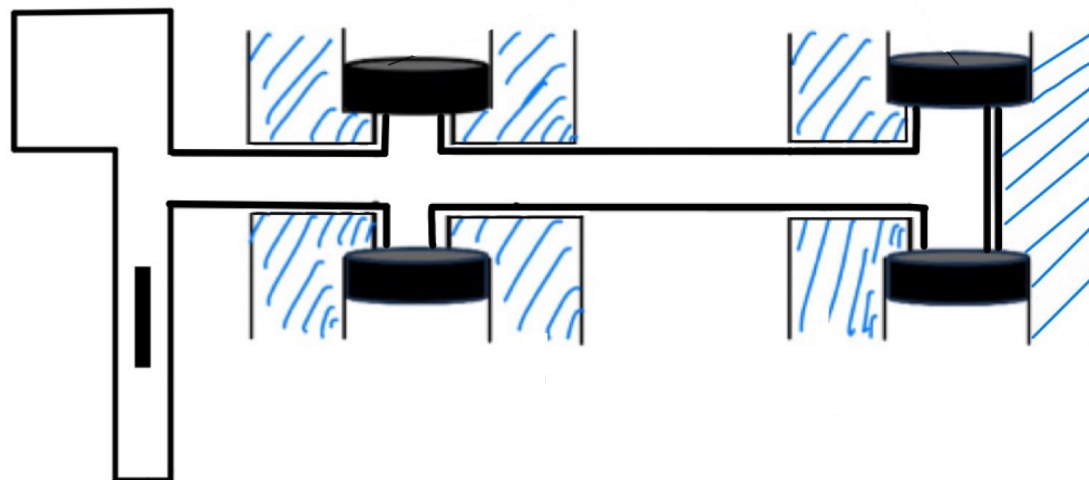
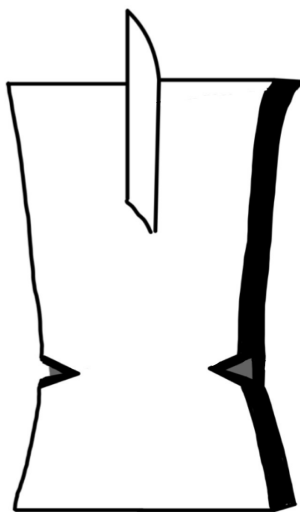
大きな容器でも一度でラップをかけることができるには...

ラップケースにラップの芯を2つ搭載して、ケースをスライドさせてラップの長さを延長することで、その容器にあった長さに調節することができる。

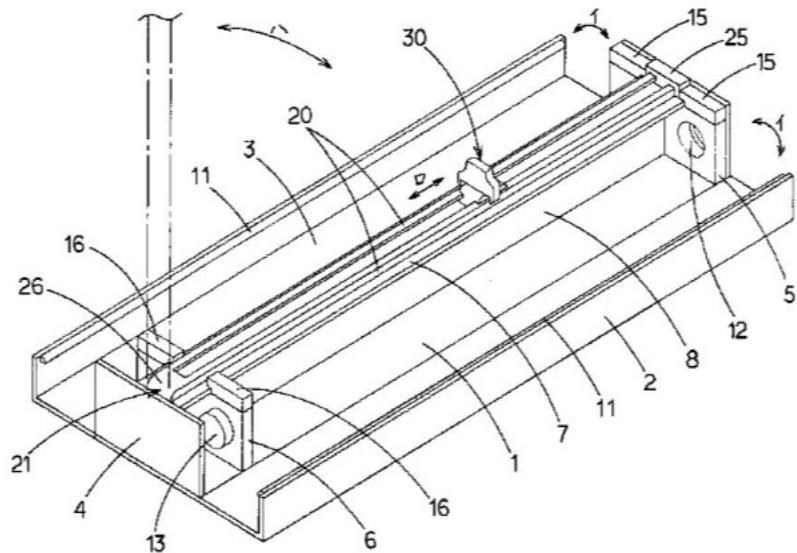


怪我をすることがなく、安全にラップをカットするためには...

刃が直接肌に触れることがないような構造をしたカッターの作成を行った。



先行調査を行った結果、特開平11-033980号広報を発見した。



<出典>

特開平11-033980

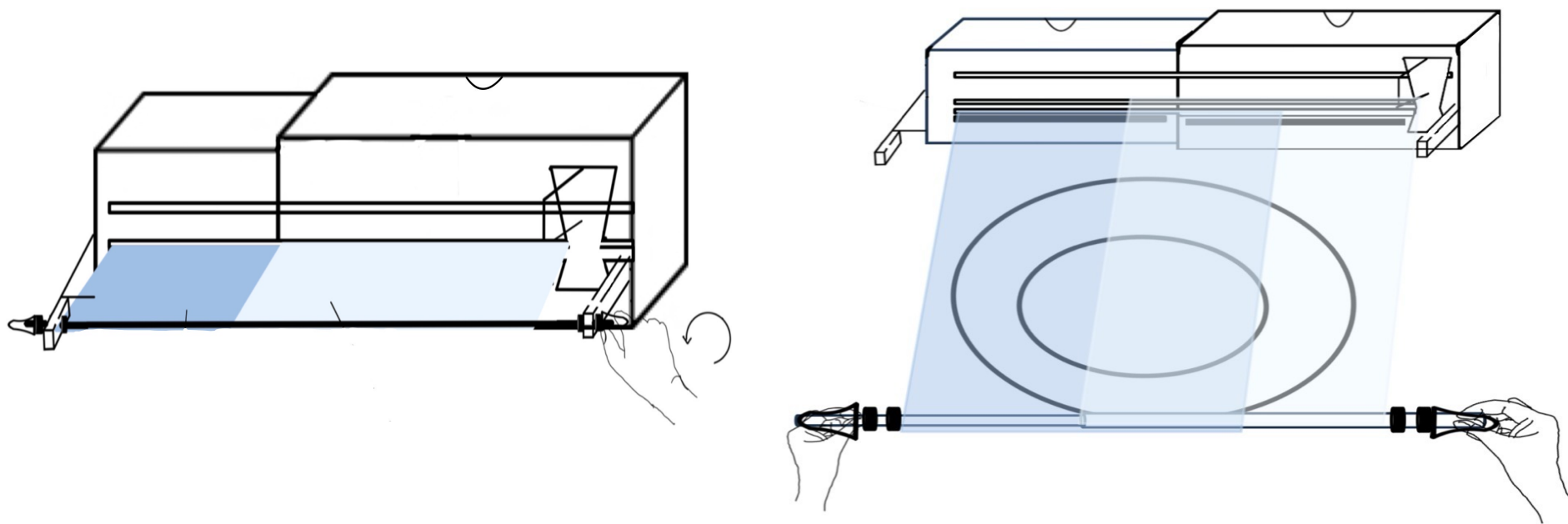
### <発明内容>

ラップフィルムを引き出して上板に載せ、レールを上板上に当接した状態でカッターをレールの一端側から他端側に向かってスライドさせれば、ラップフィルムがカットすることができる

### <自分の発明との相違点>

- ・ ケースを延長させる機能は兼ね備えていない。
- ・ 安全カッターの構造が異なる。

怪我をすることなく安全にラップをカットでき、かつケースをスライドさせ元々のラップの長さよりも大きな容器に合わせた幅のラップを生成することが可能になった。



延長可能ラップフィルムケース